



## Duke 大学医学部 相馬研究室 腎臓内科ポスドク(博士研究員) 募集

Duke 大学腎臓内科相馬研究室 (PI: 相馬友知) は、博士研究員を募集しています。相馬研究室は、現在 6 年目を迎え、2023 年 3 月より 5 年間、NIH R01 グラントの支援を受けることになり、成長を続けております。私たちの研究室では、シングルセルシーケンス解析とマウス遺伝学を駆使して、細胞死および性差に着目して腎臓の組織障害修復機序の解明を目標に日々研究しております。iPS 細胞を用いたヒト腎臓オルガノイドや豚移植モデルを用いた共同研究など多彩な研究を進めております。相馬ラボでは、これまでに、腎臓尿細管細胞の可塑性 (Plasticity) や制御性細胞死 (フェロトーシス) の組織修復不全における役割、組織修復における性差の機序について報告しております (*eLife* 2021, *Cell Rep* 2022)。

熱意があり、最先端の技術を用いてサイエンスを楽しみ、様々なことにチャレンジしたいと強く思っておられる方を求めています。ご興味のある方は履歴書および必要書類を相馬友知 ([tomokazu.souma@duke.edu](mailto:tomokazu.souma@duke.edu)) までお送りください。

相馬および相馬ラボの研究員の支援を受けながら、Duke 大学の研究者や他施設の研究者との共同研究など、円滑に研究留学を行える優れた学習、研究環境が整っております。ラボには、ドイツ人ポスドク、アメリカ人研究補助員もおり、国際的な環境で研究活動を行えます。

着任時期は 2023 年秋ごろから 2024 年春を考えておりますが、相談に応じ調整が可能です。

---

**施設:** Duke 大学は、ノースカロライナ州ダーラムに位置しており、全米トップ 10 の研究大学です。優秀な科学者が集まり、研究環境が整っています。学内共同研究が盛んで、基礎研究、translational な研究を行う上で最適な環境の一つです。研究留学に挑戦する際には、生活面の心配もあるかと思いますが、米国の大都市に比べ、治安も良く、穏やかな土地柄です。医療についても、Duke 大学の医療保険は素晴らしく、日本の保険制度とほぼ変わらない環境といえます。研究面のみならず生活面でも安心して、留学先として選んでいただけるかと思います。

**採用条件:** 熱意があり、基本的な実験操作、細胞培養、マウス解析方法を、大学院で学ばれている MD/PhD, PhD の方を希望しています。特にマウス遺伝学、遺伝子転写制御解析、プログラミング、ウイルスベクター、iPS 細胞などの経験がおありになる方を優先いたしますが、熱意があり、手先が器用であれば、実験手技は、すぐに身につけていただければと思います。日本人研究員、外国人研究員も多く Diversity に富んだ環境で、学びに適しています。

**待遇、給与:** NIH および大学の規定に基づきます。また、希望に応じて、日本のフェロシップ、アメリカ心臓協会(AHA)のフェロシップなどの獲得を支援いたします (研究費獲得方法の学びにつながりますので奨励しております)。

**必要書類:** 履歴書とともに、研究留学に期待することの要旨 (1-2 パラグラフ程度)、英語力を証明できるもの (必須ではありません)、代表的な研究業績、現在および過去の研究指導者 (2 から 3 名) の連絡先をまとめてお送りください。

### 送付先:

Tomokazu Souma, MD, PhD (Assistant Professor, Duke Nephrology)

Email: [tomokazu.souma@duke.edu](mailto:tomokazu.souma@duke.edu)

ラボホームページ:

<https://medicine.duke.edu/souma-lab>